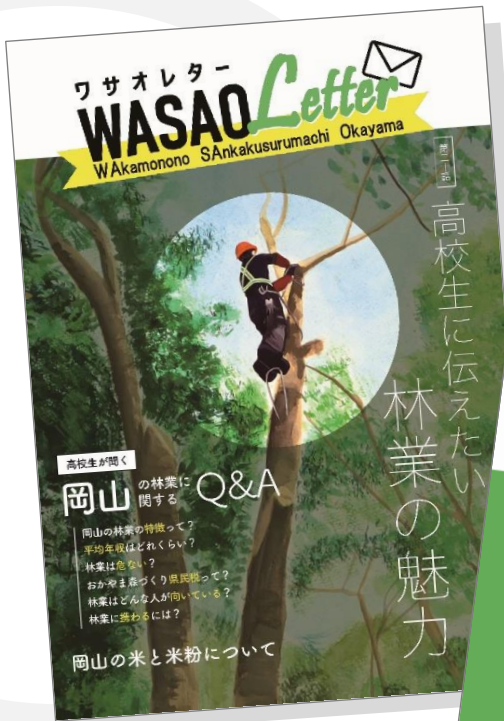
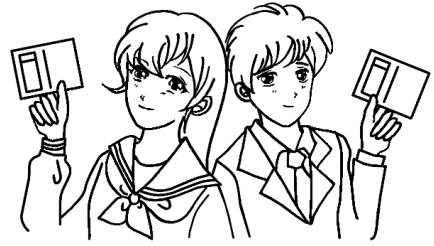


岡山市明るい選挙推進協議会機関紙

せんきょ 岡山

No.48



若者と岡山市をつなぐ広報紙
ワサオ
WASAOレター



岡山市選挙管理委員会
事務局ウェブサイト

岡山市内の高校生や大学生のみなさんが、関心のある行政について岡山市役所へ取材に行き、それを記事にまとめた広報紙です。WASAO(ワサオ)とは、「ワ」若者の(サ)参画する街(オ)岡山」の略称です。今回は、岡山工業高校の生徒のみなさんが、岡山市役所へ取材に来て、WASAOレターを完成させました。取材した内容は、林業や難聴の子供への支援などです。なお、WASAOレターは、ウェブサイト上で読むことができますので、興味のある方は、ぜひ一読してみてください。

WASAOレターとは

SNSと選挙

岡山市明るい選挙推進協議会

会長 岩淵 泰



信頼できる情報はどこにあるのだろうか。だれが発信しているのだろうか。そして、どのよう判断すれば良いのだろうか。2024年の選挙を振り返ると、新聞、テレビ、選挙公報以外に、インターネットを通じてSNSの力が発揮された年であった。インターネットが政治や選挙に与える影響は、日々大きくなっている。

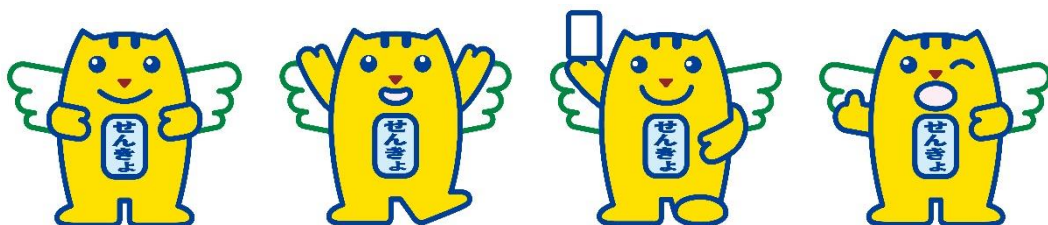
アメリカ大統領選挙では、民主党のハリス副大統領と共和党のトランプ前大統領が激しい選挙戦を行った。両者が激しく糾弾しあうほどに、有権者はどこに真実があるのかわからなくなってしまう。7月の東京都知事選挙では、政策にも、有権

者にも関係のない選挙ポスターが貼り出された。それらのポスター掲示は、制度的には可能であったのかもしれないが、代表者を選ぶという選挙の本質から外れていた。有権者が大切な一票を託していることを候補者が忘れてしまっていた。

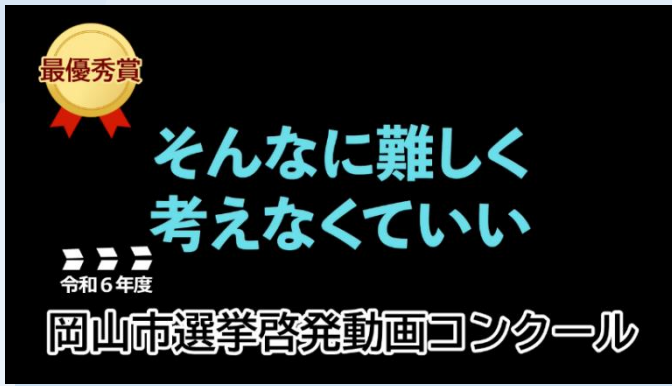
東京都知事選挙と兵庫県知事選挙では、SNSが若者を巻き込んでいった。有権者数の少ない若者世代は、政治へ声を届けるのは難しい。SNSの活用は候補者と有権者の距離感を疑似的にではあるが縮めることができた。しかし、選挙が終わり、振り返ってみると、SNSの情報だれが発信したものであったのか、それを、有権者は信じ

てよかったのか、課題も残すものであった。

私は、選挙結果に意見を述べたいのではない。問われているのは、なにが正しい情報なのか、自分自身の判断が大切になったのだ。つまり、市民自身の判断基準でしっかり考えないといけないのだ。SNSは、政治と選挙の世界を一人一人にカスタムしてわかりやすく伝えてくれる。それは上手に活用すればよいだろう。しかし、カスタムされた情報に限定せず、自分とは異なる意見に関心を寄せてみることで、よりバランスのある判断ができるはずだ。



明るい選挙のイメージキャラクター「選挙のめいすい(明推)くん」



中国デザイン専門学校
若林 葵さんの作品

文字とBGMだけのシンプルな構成ですが、表現方法がとても工夫されている作品です。

最後までテンポ良く観ることができます。

「そんなに難しく考えなくていい」という言葉が選挙の固いイメージをやわらげ、投票へ向かう背中を押してくれます。



岡山県立岡山操山高等学校
演劇部 橋本 晃人さん達の作品

「投票用紙は字が書きやすいらしい」という話をきっかけに始まる作品です。

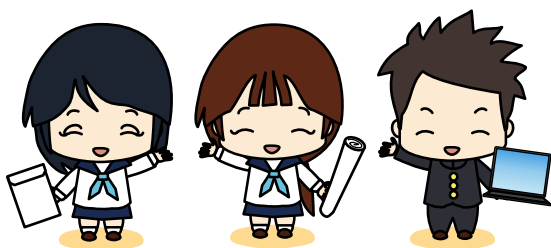
カット割りも良く考えられていて、何より二人の女子高生の演技が光っています。

来年二人が仲良く投票所へ向かっている姿が想像できて、ほっこりとした気持ちにさせられます。

「若者が選挙に関心を持ち、投票に行きたくなる動画」をテーマに、初めて選挙啓発動画コンクールを開催しました。

市内の高校、大学や専修学校などに通学している生徒・学生のみならず、三十二作品のご応募をいただき、審査の結果、上記の二作品が入賞しました。

岡山市選挙啓発動画コンクールを開催



岡山市選挙管理委員会
事務局ウェブサイト

入賞作品は、岡山市選挙管理委員会事務局ウェブサイト・岡山市公式YouTubeチャンネルからご覧いただけます。

公式 X やってます!

(旧ツイッター)



公式 X (旧ツイッター)

岡山市選挙管理委員会の公式 X (旧ツイッター) アカウントでは、選挙の啓発や主権者教育、あるいは事務局の活動など、いろいろな情報を発信しています。令和三年三月から運用を開始した当アカウントは、市民の皆さんに選挙のこともっと身近に感じてもらうという想いで、選挙管理委員会の職員が投稿を考えています。実は奥が深い選挙の仕組みや皆さんがご利用できる投票方法等のお役立ち情報をこれからもどんどん発信していきます。